

事務局の窓から 『会報の思い出』

原 啓子

1979年6月、モスクワ経由のアエロフロートで憧れの『音楽の都ウィーン』にワクワクしながらやって来た。その時は4ヶ月程滞在し、一旦帰国。その後、意を決し家など処分し、翌年3月に再びこの地に降り立った。その時はこんなに長い生活になろうとは思ってもしなかったことだが、今ではどっぷりとウィーンの地に根付いてしまっている。

1990年10月、ご縁があって日本人会事務局員として勤務することになった。面接の際、当時の日本人会会長、中西英夫氏(JETRO所長)から、「主な仕事は会報を作成して会員の方々に配布することです」と言われたことを懐かしく思い出す。この間、18年もの月日が流れ、通算すると400回程の会報を会員の皆様にお送りしてきたことになる。そこで日本人会の創立50周年にあたってその会報について記してみたい。

会報の歴史を振り返ると、1978年4月に「紙上バザー」という名で始まったという記録が残っている。A4サイズの白い紙に手書きで書かれた1頁程度の簡素なもので、内容も「売ります、買います」の情報が主だった。その当時の生活環境を考えると、これらの情報は会員の皆様にとっては貴重で待ち望まれたものではなかったかと思う。



その翌年からは、「日本人会よりのお知らせ」となり、84年に初めて「日本人会報」の名で第1号が会員に配布され、発行回数も月2回と定期的となった。手書きで始まった編集作業も、85年から和文タイプ、89年からワープロ、2001年からはコンピュータが導入された。印刷は、94年までは業者に依頼していたが、役員会でコスト面を検討した結果、事務局で印刷するようになり現在に至っている。

『ウィーンの風』というタイトルとデザインは、84年に会報で「ニックネーム募集」と応募し、20点の中から選ばれた。(当時の日本国大使が毛筆で書かれた、という記録が残っている) 1990年に事務局で葡萄の模様をプラスしたデザインが、その後15年間もの間、会報の顔となった。2007年、創立50周年記念を機に、これも応募により、美大生のNさんの作品が選ばれ、新しい時代の「ウィーンの風」が誕生した。

会報の紙の色も時代とともに変化があった。当初、白い会報からカラーに変わった理由が、私にはちょっと可笑しかったのが今でも忘れられない。ある時、役員会で「紙の色を変えてみては？」という提案があり、理由が『机の回りにはいろんな書類が重なっていて、さて、日本人会の会報を読もうかと思ってもどこにあるかわからない。カラーだと、どんな散らかった書類の中からでもすぐ見付けられるか

ら』という単純なことだった。その意見が取り上げられた結果、2001年から07年までは、淡いグリーンが会報カラーとして親しまれ、現在は、会の創立50周年記念の年ということで、淡いオレンジになっている。

会報の内容については、長いこと情報主体の簡単なものでページ数もその時々情報量に応じていろいろだったが、2004年から8ページに、05年からは10ページと定められ、07年より内容を一層充実することで12ページ、発行回数月1回となり現在に至っている。



さてこの自家製会報が出来上がるまでの道のりは結構厳しい。月1回の広報部長、副部長を中心にした編集会議では、より豊富な内容にすべく、いろんなアイデアが出され検討されていく。原稿依頼に始まり執筆者とのやり取りや、情報収集、校正、レイアウト等、毎回学ぶことがいろいろある。原稿締め切りから発行日までの10日間は事務所の中は紙の山だ。袋詰めした会報を区ごとに束ね、カートで郵便局まで運ぶ、という作業が終わるといつもホッとした。

会員の皆さんから「今回の・・・の記事が面白かった」等の感想を頂いたりすると、また次の会報作りへの励みになった。時代の移り変わりと共に、手書きの作業こそなくなったが、会報は現在でも手作りの精神が受け継がれている。

これまで私が関わった会報の歴史の中で、連載として掲載した今井顕先生のウィーンの風『音楽雑学帳』（1984年より6年間）と服部豊子先生の『Wahl Wiener』『ウィーンびいきのウィーン暮らし』（1995年秋より5年間）が、まとめられて本になったこともうれしい思い出である。

最後に、これまで「ウィーン風の風」を愛読して下さった会員の皆さん、お世話になった役員の方々、会報執筆にご協力頂いた多くの方々から心から感謝の気持ちを送りたいと思います。オーストリア日本人会の更なる発展をお祈りいたします。

1978年4月に「紙上バザー」

1978 「日本人会よりのお知らせ」

1984 「日本人会報」第1号発行（月2回）

ロゴ「ウィーン風の風」誕生

1985 和文タイプ導入

1989 ワープロ導入

1990 ロゴ「ウィーン風の風」にブドウ柄が追加される

1993 折込・掲載広告を導入

2001 コンピュータ導入

2001年9月 紙の色がグリーンになる

2007 新ロゴ誕生

